
2025年3月期第2四半期(中間期)
決算説明会

2024年11月21日



証券コード
8093

2025年3月期中間期の業績に関する報告



2025年3月期中間期の連結損益計算書

連結P/L

(単位：百万円)

	2024年3月期 中間期累計	2025年3月期 中間期累計	前年同期比	増減率
売上高	20,163	21,277	1,114	5.5%
売上総利益	4,236	4,863	626	14.8%
営業利益	339	796	457	57.4%
経常利益	652	1,020	368	36.1%
親会社株主に 帰属する 中間純利益	465	767	302	39.3%

売上高・売上総利益

- ・ 産業設備関連部門は、国内外の重化学工業向け設備事業を中心に順調に推移
- ・ 産業素材関連部門は、北米向け自動車部品用樹脂・塗料事業が堅調に推移
- ・ 機械部品関連部門は、精密ファスナー関連事業が減速も、特殊スプリング関連事業の収益性が改善

営業利益

- ・ 今後の成長に向け、人的資本への投資次世代商材および事業販管費が前年同期比増も売上総利益増加により増益

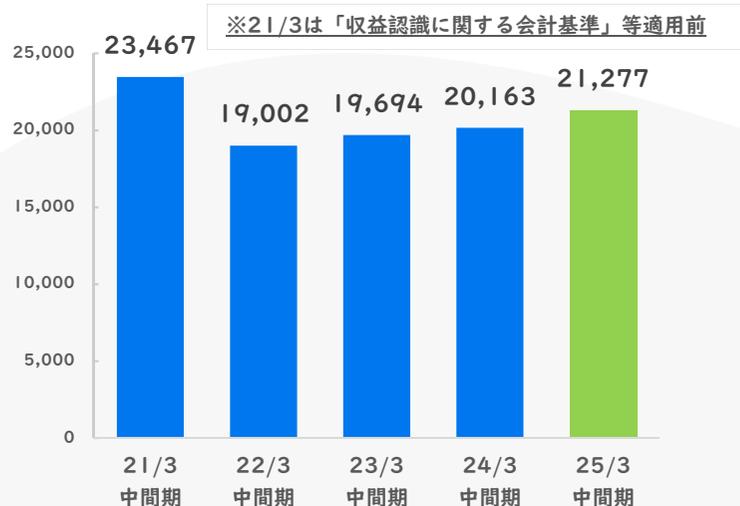
経常利益

- ・ 為替差損が発生するも、営業利益増加により増益



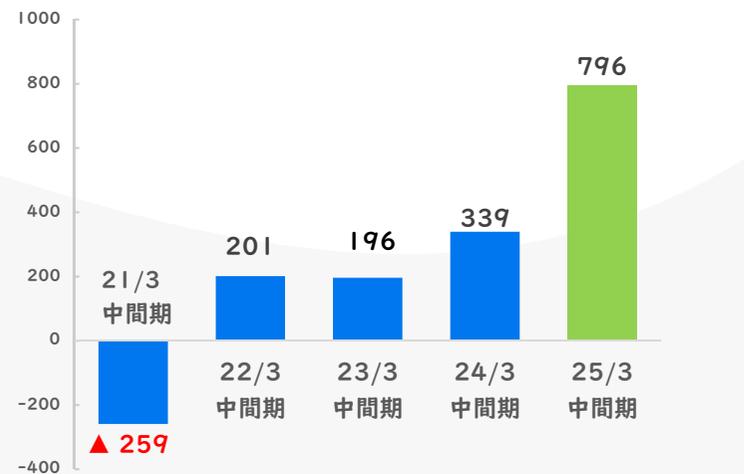
2025年3月期中間期の業績に関する報告

売上高

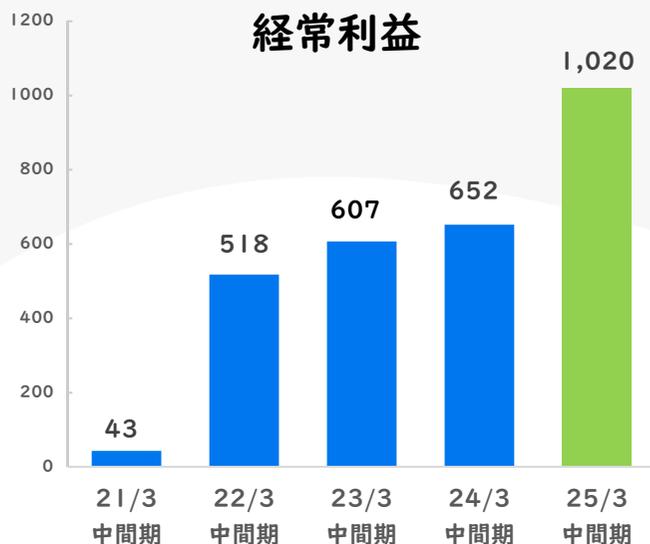


営業利益

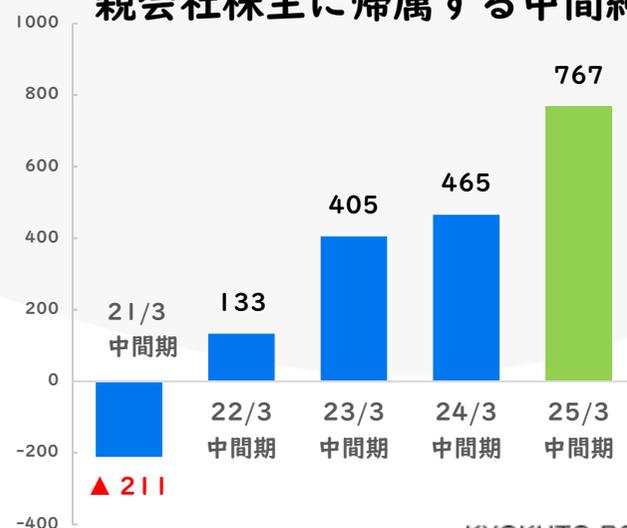
(単位：百万円)



経常利益



親会社株主に帰属する中間純利益





2025年3月期中間期の連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期 中間期	増減	主な要因
流動資産	37,334	39,099	1,765	
固定資産	12,311	11,950	▲361	
資産合計	49,646	51,050	1,403	営業債権、棚卸資産の増加
流動負債	21,204	21,987	783	
固定負債	2,752	2,722	▲30	
負債合計	23,956	24,709	753	営業債務の増加
株主資本	21,500	21,588	88	
その他の包括利益累計額	4,184	4,750	566	
純資産合計	25,690	26,341	650	円安による為替換算調整勘定の増加
自己資本比率	51.7%	51.6%	-	



2025年3月期中間期の連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2024年3月期 中間期累計	2025年3月期 中間期累計	主な要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲845	261	棚卸資産は増加するも、好調な税前利益や債権債務差がプラスとなったこと等が寄与
投資活動によるキャッシュ・フロー	329	1,299	定期預金の預入による支出の減少
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲784	▲1,055	有利子負債の返済、配当金の支払額が増加
フリーキャッシュフロー	▲744	275	※定期預金による増減を除く
基礎営業キャッシュフロー	615	844	



2025年3月期中間期の業績に関する報告

産業設備関連部門

(単位：百万円)

連結	2024年3月期中間期累計		2025年3月期中間期累計		前年同期比			
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	増減率	セグメント利益	増減
産業設備関連部門	4,949	▲116	5,701	295	751	15.1%	412	—

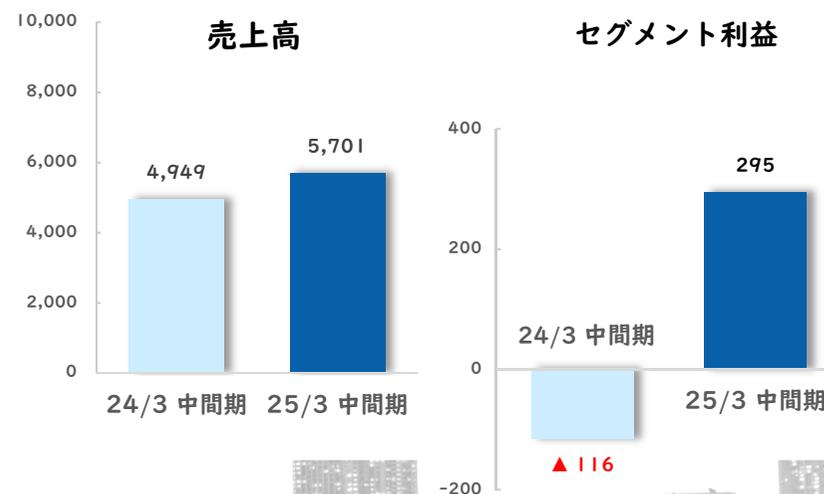
前年同期に比べ増収増益

産業インフラ関連事業

- ・国内鉄鋼・化学プラント向け設備等事業が順調に推移
- ・海外プラント向け機器事業は東南アジアの肥料工場向け案件などが好調を維持

資源・計測機関連事業

- ・海洋探査等の資源開発機器事業、防衛関連事業が堅調に推移





2025年3月期中間期の業績に関する報告

産業素材関連部門

(単位：百万円)

連結	2024年3月期中間期累計		2025年3月期中間期累計		前年同期比			
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高		セグメント利益	
産業素材関連部門	6,210	93	6,818	140	608	9.7%	46	49.4%

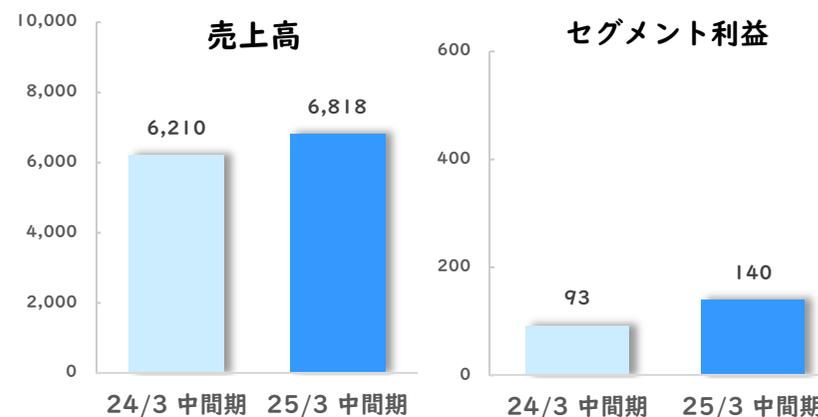
前年同期に比べ増収増益

機能素材関連事業

- ・自動車部品用樹脂・塗料が、北米において好調に推移

生活・環境関連事業

- ・ハム、ソーセージの成型用エケーシング等の食品業界向け事業が為替の影響により低調に推移





2025年3月期中間期の業績に関する報告

機械部品関連部門

(単位：百万円)

連結	2024年3月期中間期累計		2025年3月期中間期累計		前年同期比			
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益
機械部品関連部門	9,002	359	8,756	355	▲246	▲2.7%	▲3	▲0.8%

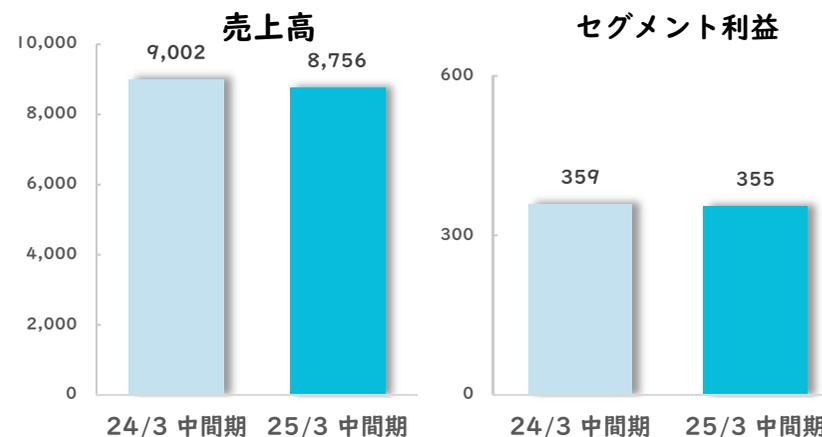
前年同期並みに推移

精密ファスナー(ねじ類)関連事業

- 産業機械向けが中国の景気の落ち込み等の影響を受けるも、前年同期並みに推移。

特殊スプリング関連事業

- 構造改革および販売価格の見直しなど、継続して対策を打ったことにより、収益性が改善

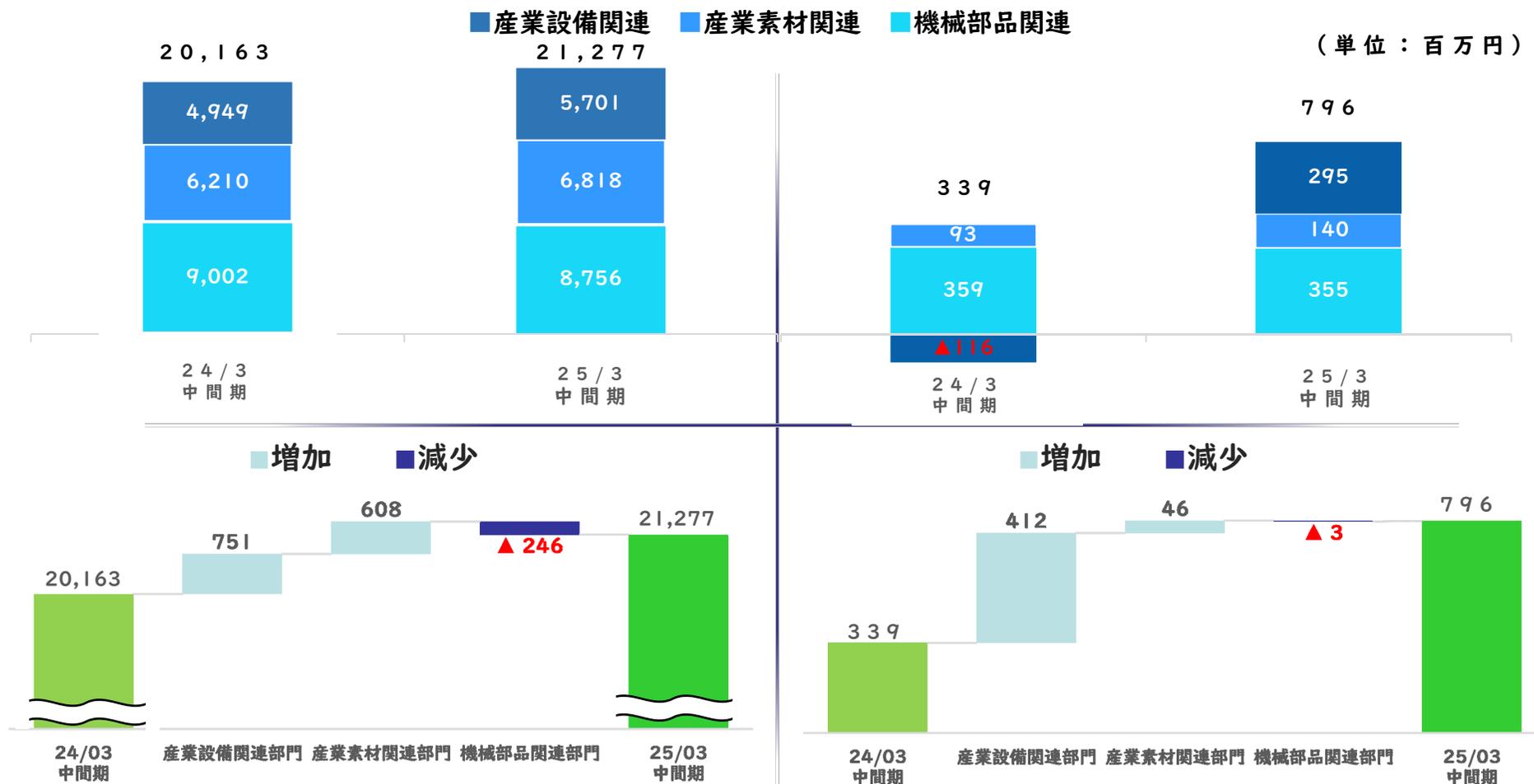




2025年3月期中間期の業績

売上高

セグメント利益



中期経営計画

「KBK プラスワン2025」の取組



「KBK プラスワン 2025」の取組

3つの重点施策

◆ サステナブルな社会を実現するための新分野における事業展開と投資実行

◆ 新たな価値創造を生み出す M&A と事業投資の実行

◆ 株主価値に資する資本政策の実行

◆ パラダイムシフトの中で「想像」し「創造」できる人材の育成



新たな価値創造を生み出すM&Aと事業投資の実行

M & A を 2 件 実施

産業素材関連部門

株式会社三幸商会

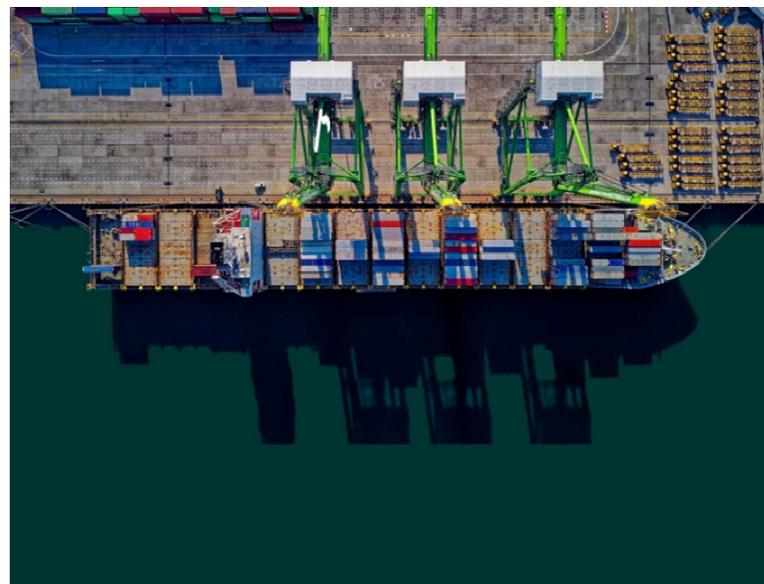
2024年10月1日 株式100%取得



機械部品関連部門

株式会社ウエルストーン

2024年11月1日 株式100%取得





新たな価値創造を生み出すM&Aと事業投資の実行

株式会社三幸商会の概要

*下記は子会社との単純合算を示しております。なお、当該会社とその子会社には取引関係があるため、単純合算値から一定の内部相殺が見込まれます。

(単位：百万円)

社名	株式会社三幸商会
取得日	2024年10月1日
設立	1957年(昭和32年)5月
資本金	5,000万円
代表者	代表取締役社長 苫米地 信輝
従業員数	44名(海外スタッフを含む)
本社所在地	愛知県名古屋市千種区
海外拠点	上海、香港、タイ、ベトナム、フィリピン
事業内容	合成樹脂原材料、関連機器、および溶射材※の専門商社

直近3年間の経営成績及び財政状態

決算期	21年11月期	22年11月期	23年11月期
純資産	4,674	5,343	5,790
総資産	9,064	9,480	8,841
売上高	17,684	17,324	13,986
営業利益	496	232	77

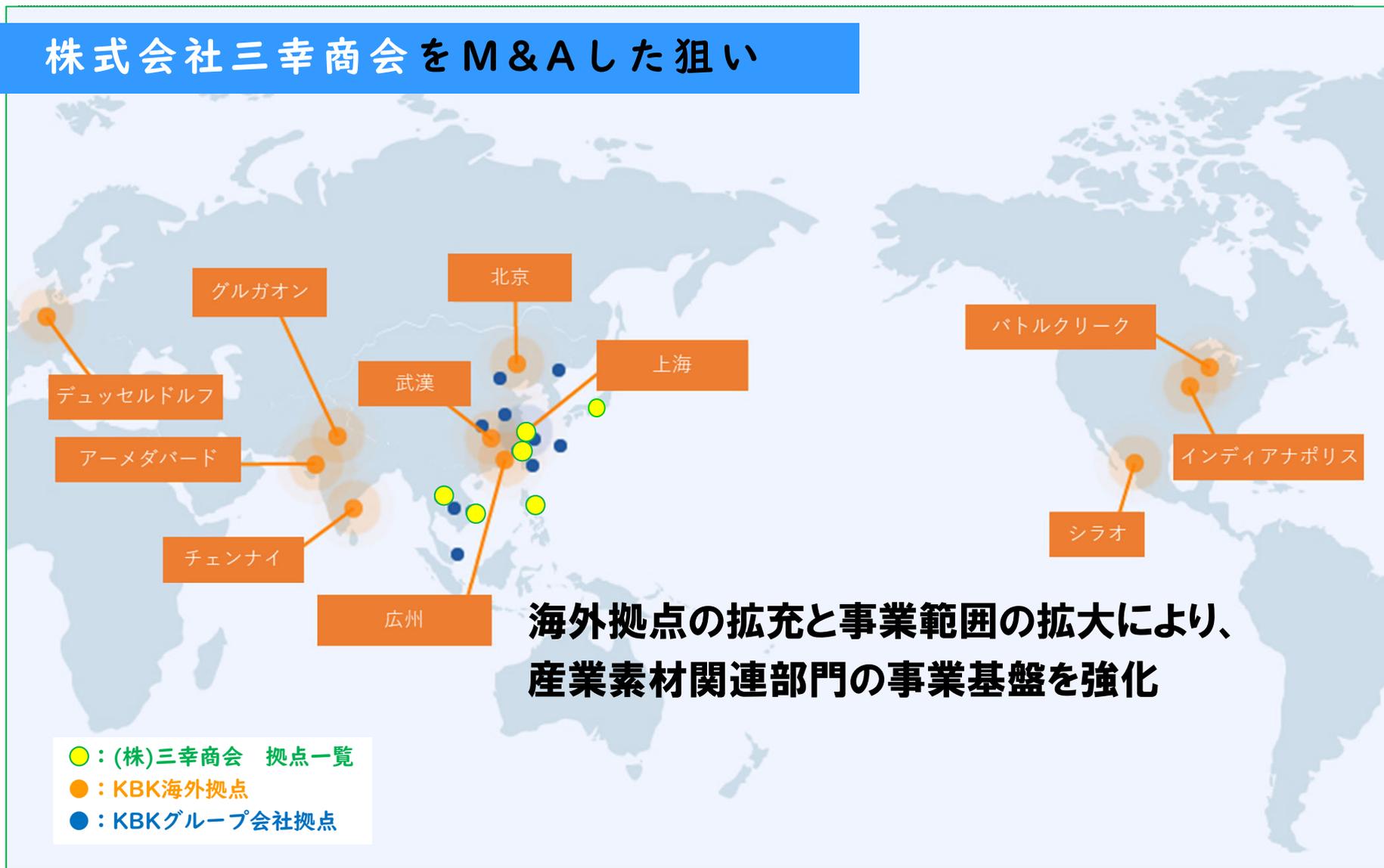
三幸商会は、自動車部品・電化製品・半導体関連など幅広い産業分野の樹脂材料のサプライチェーンに貢献。国内外の半導体事業の伸張と共に、事業規模も拡大している。

※溶射材とは、表面改質技術の溶射で使用される金属やセラミックス、サーメットなどの材料。



新たな価値創造を生み出すM&Aと事業投資の実行

株式会社三幸商会をM&Aした狙い





新たな価値創造を生み出すM&Aと事業投資の実行

株式会社ウエルストンの概要

(単位：百万円)

社名	株式会社ウエルストン
取得日	2024年11月1日
直接出資者	エトー株式会社 (当社100%子会社)
設立	2002年11月19日
設立	1957年 (昭和32年) 5月
資本金	1,000万円
代表者	代表取締役社長 北野 速
本社所在地	東京都世田谷区
海外拠点	フィリピン
事業内容	船舶補修部品の輸出や国内卸しを主体とする専門商社

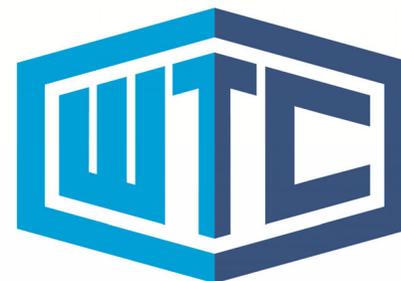
直近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	21年10月期	22年10月期	23年10月期
純資産	183	221	348
総資産	884	1,068	1,317
売上高	1,022	1,635	2,118
営業利益	12	96	195





新たな価値創造を生み出すM&Aと事業投資の実行

弊社子会社のエトー株式会社が
株式会社ウエルストンをM&Aした狙い



- ・ 船舶補修部品市場への新規参入によるエトーの収益基盤の強化。
- ・ 当グループの信用力、取引先、商品の管理ノウハウを活用し、ウエルストンの顧客対応を強化。
- ・ 当グループの海外ネットワークを活用した機敏な現地対応により、世界の船舶補修部品市場においてウエルストンの優位性を構築。



「KBK プラスワン 2025」の取組

3つの重点施策

◆ サステナブルな社会を実現するための新分野における事業展開と投資実行

◆ 新たな価値創造を生み出す M&A と事業投資の実行

◆ 株主価値に資する資本政策の実行

◆ パラダイムシフトの中で「想像」し「創造」できる人材の育成



新分野における事業展開と投資の実行

再生可能エネルギー分野：洋上風力発電関連事業

再生可能エネルギー



2024年11月25日 株式の追加取得により完全子会社化



洋上風力発電の大型風車を建設する際に使用する
特殊大型設備の設計・製作会社

現在 ラウンド2※では、複数の概念設計※を受注しており、大型治具等の機器製作も受注を目指して取り組んでいる。

※再エネ法ラウンド：再エネ海域利用法に基づいて国が定める洋上風力発電事業の促進領域での事業者選定の公募

※概念設計：顧客の設計要求をもとに、具体的な設計案を作り出す過程

計画最終年度2026年3月期に売上高3億円程度、
その後も高い成長を見込む





新分野における事業展開と投資の実行

- 「地震・振動計事業」

→次世代機器の開発投資中。来年度にはプロトタイプが完成予定

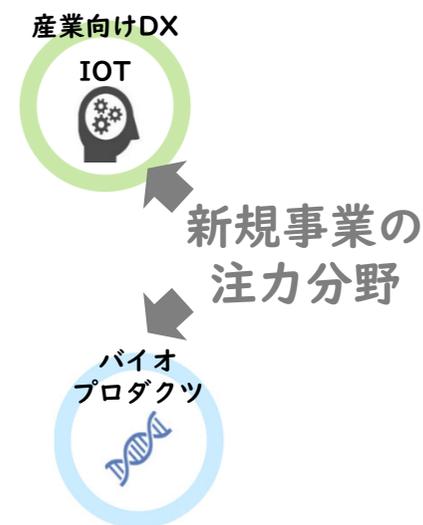
- 「特殊大型車両用の自動運転システム」

→デモ機を製作して、潜在顧客に対して提案を継続

- 「生分解促進添加剤」

- 「マスバランス式バイオポリプロピレン」

→販売の本格化に向け、客先での実証実験などに注力

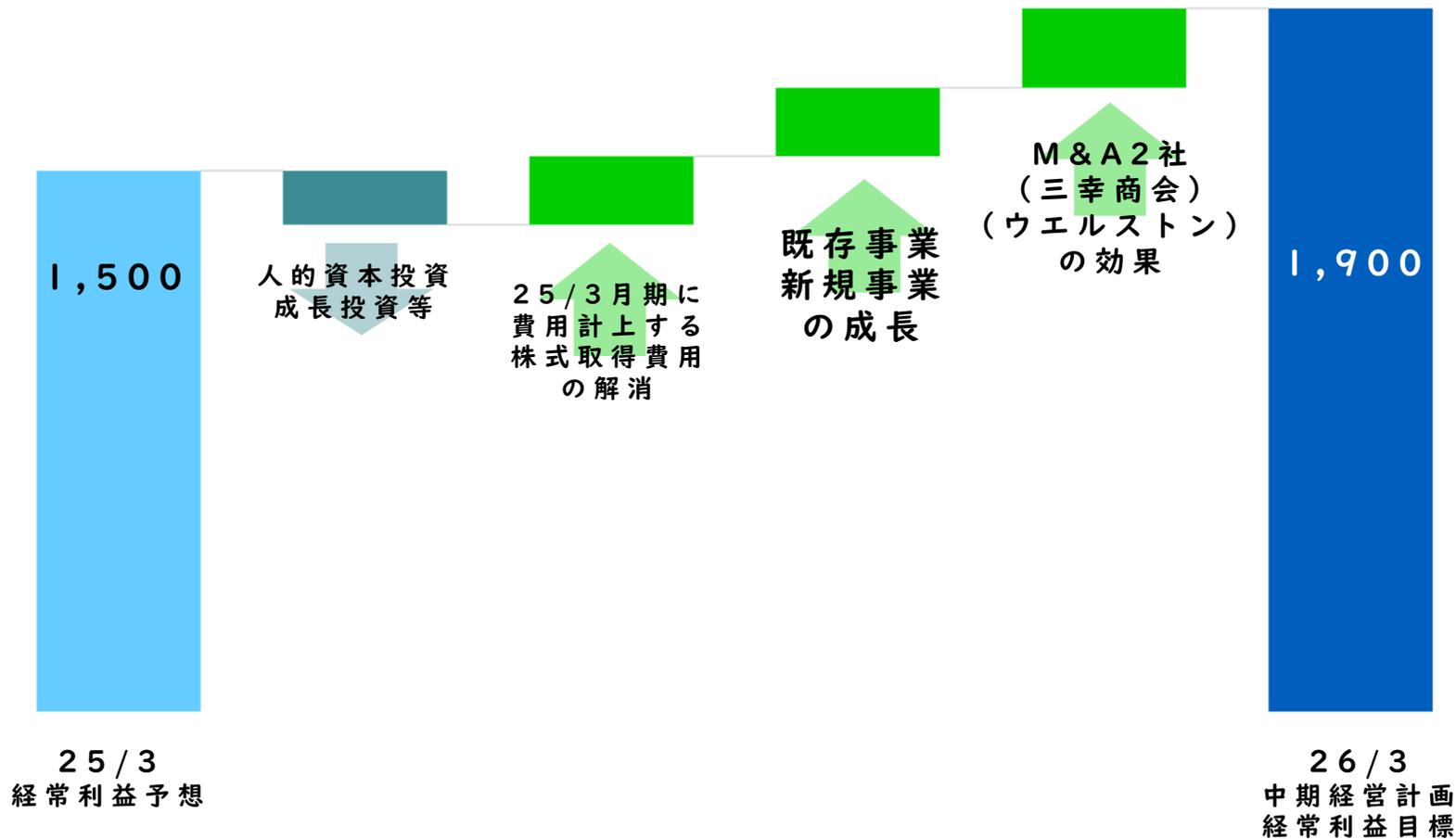


中期経営計画の重点施策の進捗状況については、末尾のAppendixをご参照ください



中期経営計画の目標達成について

(単位：百万円)



2025年3月期業績見通し



2025年3月期業績見通し

2025年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)

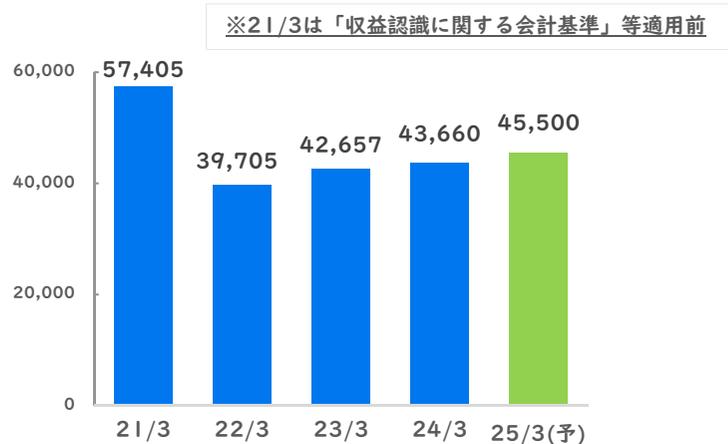
連結	2024年3月期	2025年3月期		対前期増減	
	実績	2Q累計実績	通期見通し※		
売上高	43,660	21,277	45,500	1,840	4.2%
売上総利益	9,115	4,863	9,600	485	5.3%
営業利益	1,112	796	1,200	88	7.9%
経常利益	1,487	1,020	1,500	13	0.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,156	767	1,200	44	3.7%

※上記の通期見通しは、期初から変更ございません。



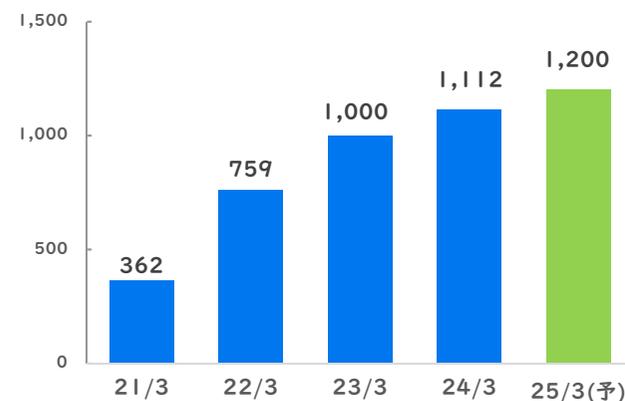
2025年3月期業績見通し

売上高

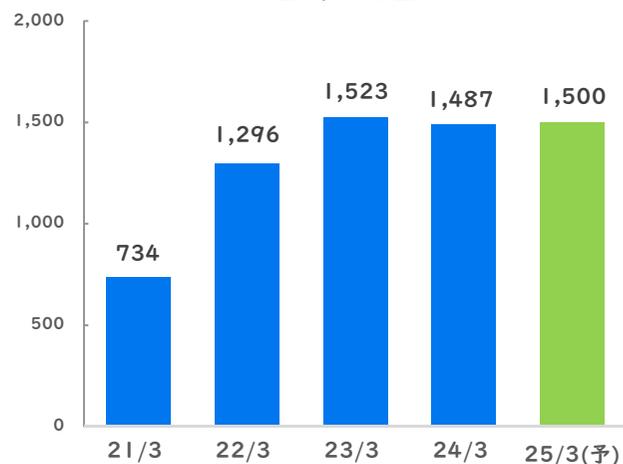


営業利益

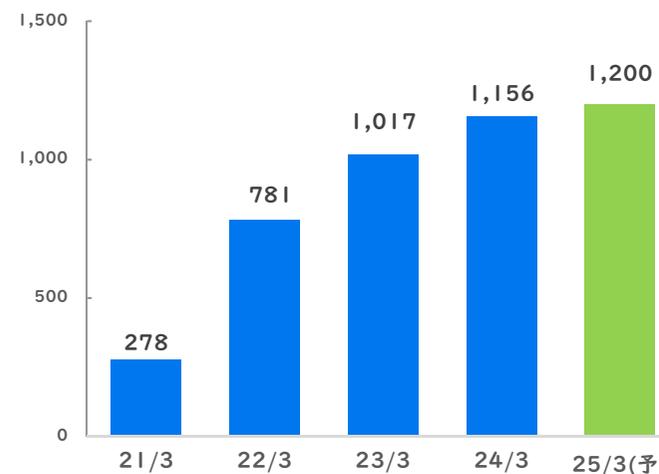
(単位：百万円)



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益





2025年3月期業績見通し

産業設備関連部門

(単位：百万円)

連結	2024年3月期 通期実績		2025年3月期 通期見通し		前期比			
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高		セグメント利益	
産業設備関連部門	12,323	212	13,530	480	1,207	8.9%	268	55.8%

前年度に比べ増収増益

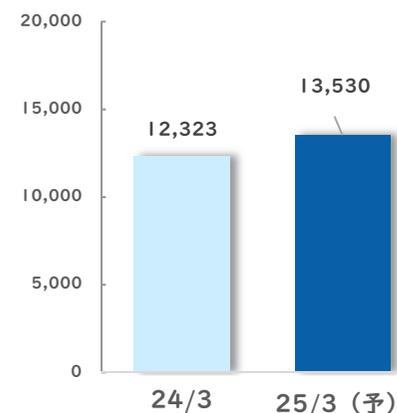
産業インフラ関連事業

- ・国内外基幹産業向け機器設備事業が堅調に推移。
- ・海外プラント向け設備事業が堅調に推移。

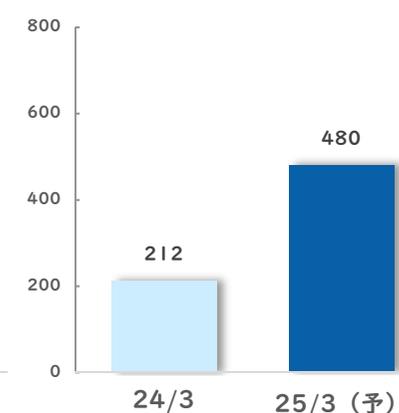
資源・計測関連事業

- ・資源開発機器事業が減速予想。

売上高



セグメント利益





2025年3月期業績見通し

産業素材関連部門

(単位：百万円)

連結	2024年3月期 通期実績		2025年3月期 通期見通し		前期比			
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高		セグメント利益	
産業素材関連部門	13,157	194	13,760	180	602	4.4%	▲14	▲7.7%

前年度に比べ増収もわずかに減益

機能素材関連事業

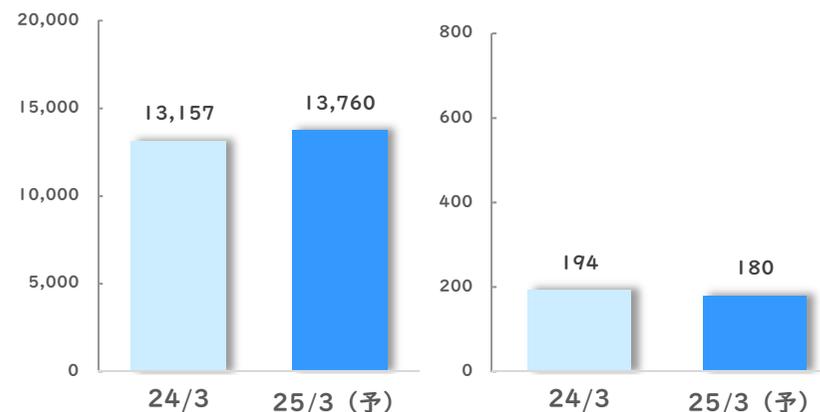
- ・ 海外向け炭素繊維複合材料関連事業は底堅く推移する見通し。
- ・ 上期で好調の北米向け自動車部品用樹脂、塗料事業が減速、下期はやや落ち込む見通し。

生活・環境関連事業

- ・ 食品業界向け資材などの事業が円安影響の継続により、利益率回復に時間がかかる見込み。

売上高

セグメント利益





2025年3月期業績見通し

機械部品関連部門

(単位：百万円)

連結	2024年3月期 通期実績		2025年3月期 通期見通し		前期比			
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高		セグメント利益	
機械部品関連部門	18,180	705	18,580	690	400	2.15%	▲15	▲2.11%

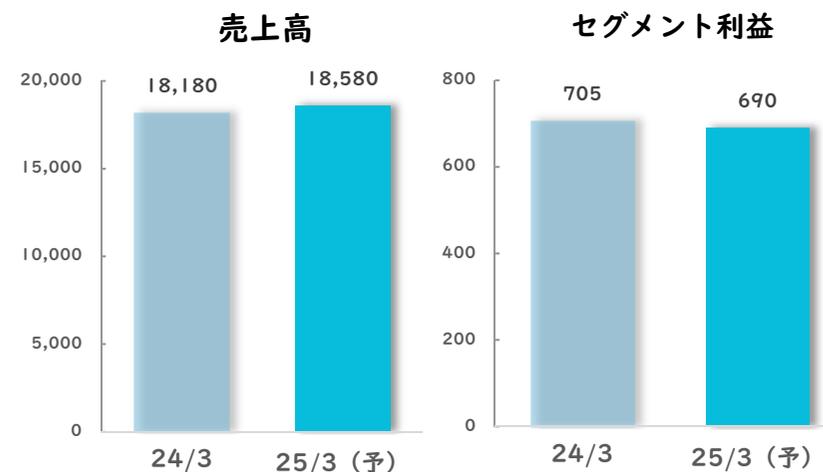
前年度に比べ増収もわずかに減益

精密ファスナー(ねじ類)関連事業

- ・ 建機向け、中国の産機向け顧客で減産傾向。半導体製造設備などエレクトロニクス向けは上向き傾向。

特殊スプリング関連事業

- ・ コンビニの陳列棚向けなどを中心に新しい市場開拓、販売価格の是正など、引き続き収益力回復に注力。



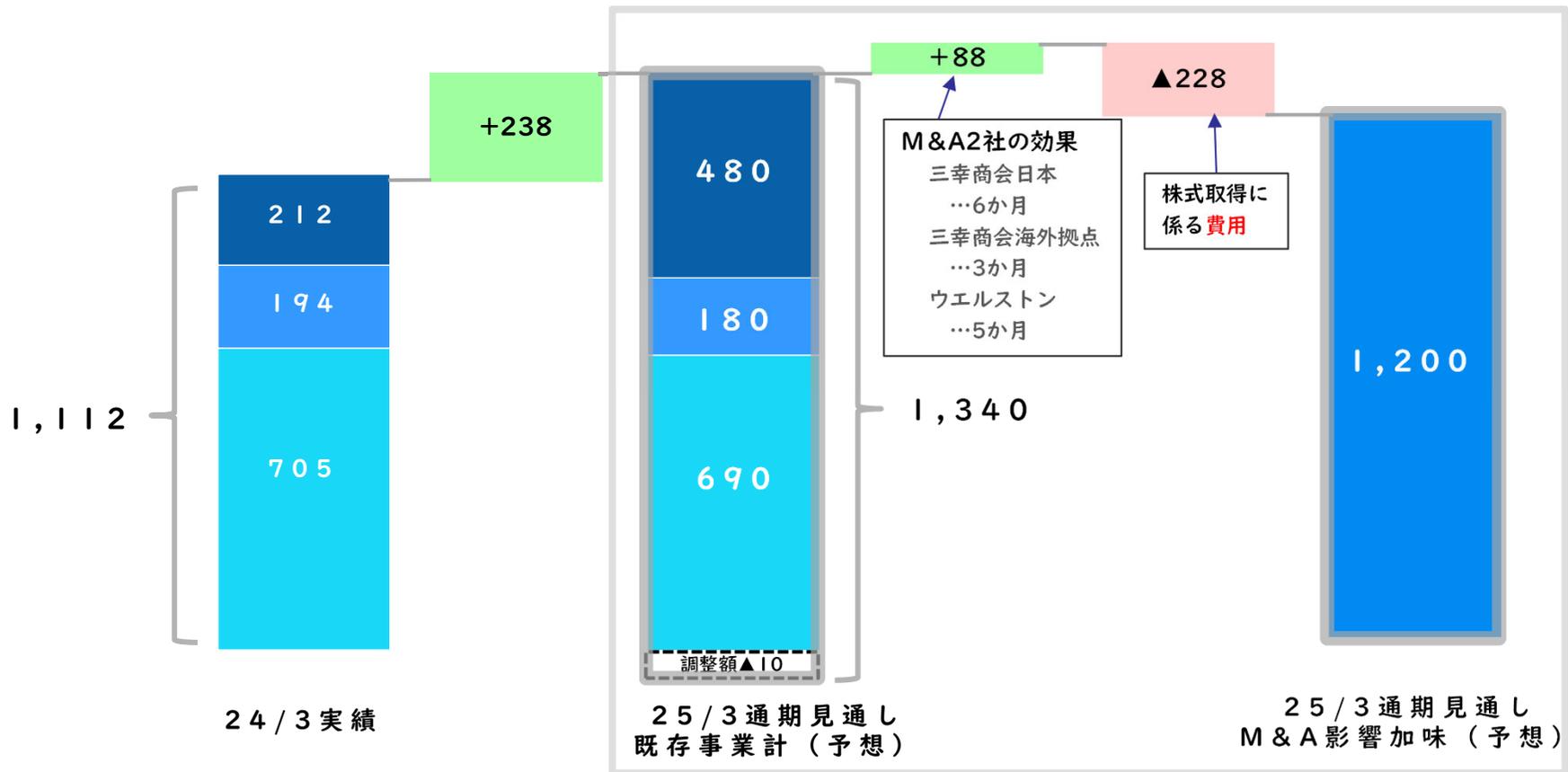


2025年3月期業績見通し

セグメント利益および営業利益予想

■産業設備関連 ■産業素材関連 ■機械部品関連

(単位：百万円)



配当政策



配当政策

極東貿易の利益配分の基本方針

株主の皆様への継続的な成果の還元と企業価値の持続的向上を実現するため
適正な資本政策の下、将来の事業展開と財務状況、収益動向などを総合的に勘案した配当を実施

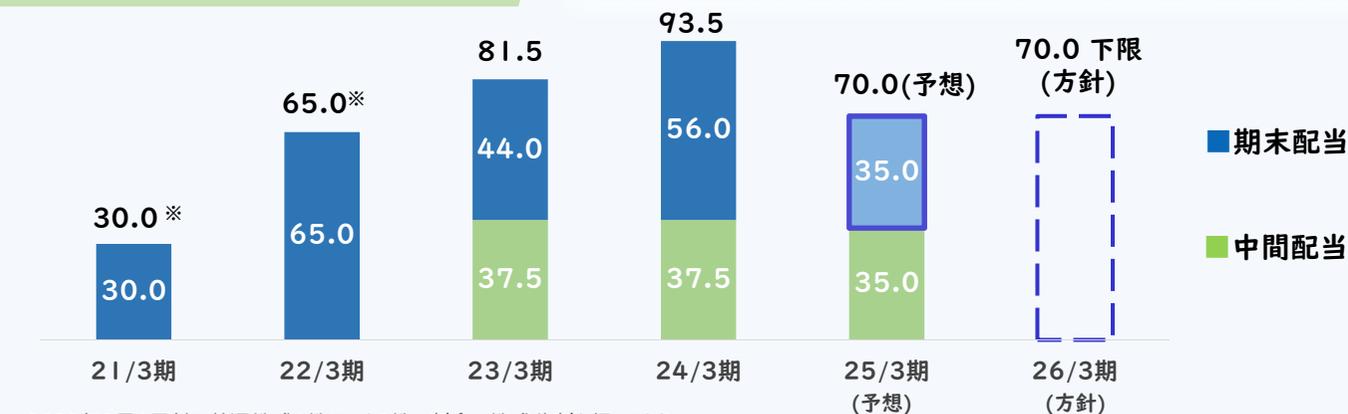
「KBKプラスワン2025」の配当政策

2025年3月期以降

2025年月期以降も、高水準の株主還元を維持し、一方で、より多くの経営資源を事業の拡大と、新たな成長機会の創出に投入することで、収益基盤を更に強固なものといいたします。

【 配当の見通し 】 (一株当たり)

2025年3月期	【中間】	35円
	【期末】	35円 (予想)
	【年間】	70円 (予想)
2026年3月期	【年間】	70円を下限 (方針)



※2022年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、上記グラフの年間配当金については、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行っております。



見通しに関する注意事項

この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも、当社及び当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。

これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。

Appendix



新分野における事業展開と投資の実行

産業向けDX・IoT分野：自動運転システム関連事業

産業向けDX

IOT



- 自動運転試験システムトップサプライヤーの英国AB Dynamicsグループと協業
- 大規模製造現場構内・鉱山での搬送・物流用特殊大型車両に追設可能な自動運転機器を開発
- 国内有償デモは製品へと移行させて参ります。



潜在ユーザーの導入への動きは活発化
事業本格化に向け、
計画を進めてまいります。



新分野における事業展開と投資の実行

バイオプロダクツ分野：廃プラ問題を解決に導く事業

バイオ プロダクツ



➤ Eco-One (生分解促進添加剤)

- ・ 食品包装用フィルム、農業用資材など多岐に亘る用途
- ・ 発泡スチロール成型品やアパレル向け繊維分野で実証試験中



➤ マスバランス式バイオポリプロピレン

- ・ 原料代替によりCO₂排出量の大きな削減が期待できる
- ・ ISCC認証※を2025年に取得予定



研究開発から製品開発への移行を促し、
販売の本格化を図って参ります。



※ISCC認証：International Sustainability & Carbon Certification

バイオマスや再生品などの持続可能な原材料を使用して製品を製造・流通・販売する企業・団体を認証する国際的認証制度



「想像」し「創造」できる人材の育成

人材育成プラン

若手向けに「マインド研修」、ベテラン向けには「マネジメント研修」など、幅広い層に様々な研修プログラムを計画し、実施しております。



人材育成・社内環境に関する指標

指標	目標
有給休暇取得率	2025年3月期までに75% (現在)63.9%
健康診断受診率	2025年3月期までに100% (現在)100%
女性管理職に占める上級管理職の割合	2026年3月期までに50% (現在)28.5%

8 働きがいも
経済成長も



育児期間における在宅勤務制度など、柔軟な働き方を取り入れ、社員がより良いワーク・ライフ・バランスを実現できるようサポートし、社員のモチベーション向上を通じて、エンゲージメントを高め、働きがいのある職場づくりに取り組んでいます。

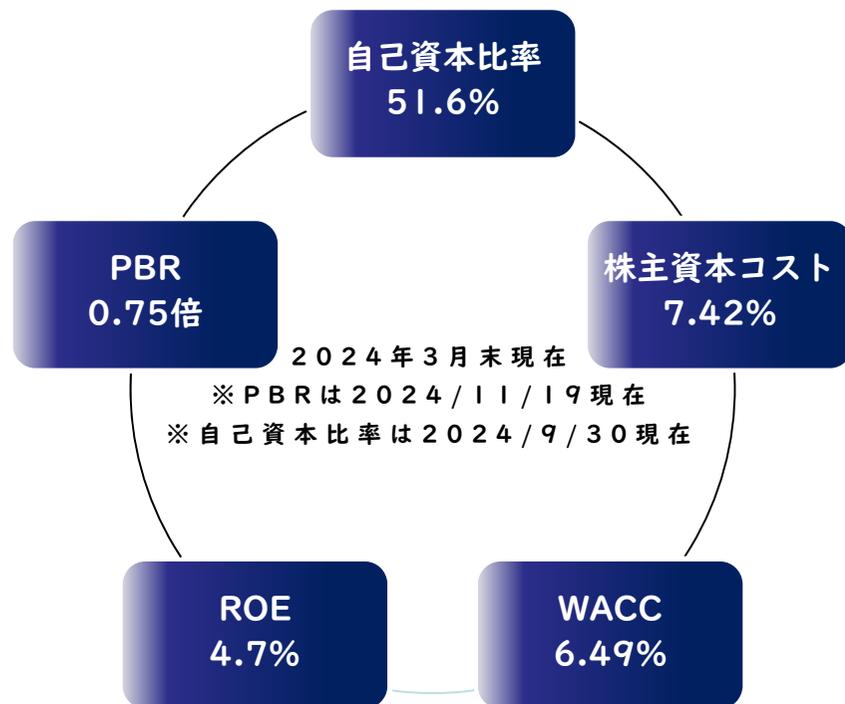


株主価値に資する資本政策の実行

資本コストや株価を意識したグループ経営

経常利益の成長はもとより、資本収益性と資本コスト、つまりROEが株主資本コストを上回ることを追求することで、株価を重視した経営に尽力

当社指標



【ROE推移】

